

資料提供

平成19年度人権啓発フェスティバル和歌山会場（全国大会）

ふれあい人権フェスタ 2007 わかやま

和歌山県から人権メッセージを発信

開催趣旨

人権に対する関心を高め、理解を深めていただくため、シンポジウムや講演会、啓発資料展、ブースによる啓発活動などのほか、物産展や模擬店、ステージイベント、キャラクターショーなど多彩なイベントを行い、楽しく明るい雰囲気の中で、「人権啓発フェスティバル」を実施し、和歌山県から全国に向けて人権メッセージを発信します。

統一テーマ 育てよう 一人一人の 人権意識 - 思いやりの心・かけがえのない命を大切に -

開催日時 : 平成19年11月17日(土) 10:00 ~ 17:00
11月18日(日) 10:00 ~ 16:00

開催場所 : 和歌山ビッグホエール、和歌山ビッグ愛

開催内容

- ・ オープニングセレモニー/開会式
- ・ 講演会/弁護士 橋下 徹さん
“地域社会で子どもたちを育てよう ~安全な街づくりを目指して~”
- ・ トークショー/女優 藤原紀香さん
“世界の子どもたちへのメッセージ~ Smile Please ~”
写真展も同時開催
- ・ 啓発ブース(100団体以上)
- ・ 人権シンポジウム(法務省)
- ・ 啓発資料展(各自治体等)
- ・ 物産展・模擬店(全国から11府県市・県内13市町村・民間団体)
- ・ 啓発映画上映

同時開催

「りいぶるフェスタ2007」

(男女共生社会推進課・県男女共生社会推進センター)

「わかやまこころのフェスティバル2007」

(障害福祉課・県精神保健福祉センター)

地域テーマ : すべての人に優しいユニバーサル社会の実現を目指して

主催 : 法務省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会、
(財)人権教育啓発推進センター、和歌山県、和歌山県教育委員会、
和歌山市、和歌山市教育委員会、(財)和歌山県人権啓発センター
和歌山県人権啓発活動ネットワーク協議会

企画部人権局 人権施策推進課

担当: 長谷 土井

TEL 073-441-2566 FAX 073-433-4540



橋下 徹【弁護士】

1969年6月29日生まれ。

東京都出身。早稲田大学政治経済学部卒業後司法試験合格。

1998年橋下綜合法律事務所開設

現在テレビ、ラジオ、執筆などでも活躍中。

講演テーマ

“ 地域社会で子どもたちを育てよう～安全な街づくりを目指して ”



藤原紀香【女優】

1971年6月28日生まれ

2002年 日韓親善大使

2003年 アフガニスタン訪問

2004年 アフガニスタン写真展開催（日本各地）

2006年 国連の視察で写真家として3月、東ティモールへ

トークショーテーマ

“ 世界の子どもたちへのメッセージ ～Smile Please～ ”

りいぶるフェスタ2007開催！！

このフェスタを通じて、男女がともに人権を尊重し合い、対等なパートナーとしてあらゆる分野に参画できる「男女共同参画社会」が実現することを願い、開催します。

日 時 平成19年11月18日(日) 10:00~16:00
場 所 和歌山ビッグ愛 1階大ホール・9階りいぶるフロア

公開講座 14:00~15:30

講 師 あきよ 阿木 燿子うごさん(作詞家)

テ ー マ 「自分らしく生きるために」

参加費無料・要事前申込
要約筆記・手話通訳あり



フェスタ内容

【1階大ホール】

- * オープニング
- * 男女共同参画いきいき大賞表彰式
- * 公開講座
テーマ:「自分らしく生きるために」
講 師:阿木 燿子さん
- * 男女共同参画啓発ポスター展

【9階りいぶるフロア】

- 木工体験教室「小ぶりのイスを作る」
- 製本体験教室「ハードカバーのノートを作る」
- は要事前予約・材料費必要
- 皆で踊ろう ハワイアンフラダンス
- チャレンジカフェ
(チャレンジ相談・情報・交流の場)
- チャレンジ一坪ショップ
- 喫茶コーナー

一時保育あり(申込締切は11月8日)

阿木燿子さんプロフィール

- ・1945年横浜市生まれ
 - ・宇崎竜童と結婚後、彼の率いるバンド『ダウン・タウン・ブギウギバンド』のために書いた曲「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」で作詞家デビュー
 - ・夫とともに山口百恵の曲の作詞・作曲を手掛ける
 - ・「FLAMENCO曾根崎心中」の公演をプロデュースし、上演
 - ・2006年、「TANNKA 短歌」で映画監督に挑戦
 - ・2006年、紫綬褒章を受賞
- 小説やエッセイ等、幅広い活動を続けている。

「わかやまこころのフェスティバル2007」

1 趣 旨

21世紀は「こころの時代」と言われています。県民のこころの健康の保持・増進と、こころの病を持つ人に対する正しい理解を広めることを目的として「こころのフェスティバル」を開催します。

2 主 催

和歌山県

*平成19年度人権啓発フェスティバル和歌山会場と共催します。

3 実施日時

平成19年11月17日(土) 10:00～17:00

平成19年11月18日(日) 10:00～16:00

4 実施場所

和歌山ビッグホエール(和歌山市手平2-1-1)

5 内容

ステージイベント 11月18日(日) 13:30～15:30

(1) オープニングイベント

時 間：13:30～13:40

内 容：共同作業所エルシティオ(*)のメンバーによるバンド演奏
(*)ひきこもり者社会参加支援センター

(2) 「こころがほっとするメッセージ」入賞者表彰式(和歌山県精神保健福祉協会と共催)

(ア) 時 間：13:40～13:50

(イ) 内 容

一般から募集した「こころがほっとするメッセージ」について、優秀作品の表彰を実施します。

(3) 和歌山県精神保健福祉協会長表彰式(和歌山県精神保健福祉協会主催)

時 間：13:50～14:00

(4) watariの「トーク&ダンス」

出演者：watari氏(別紙資料参照) 他3名

時 間：14:00～15:30

ブースイベント 11月17日(土)・18日(日) 両日開催

(1) 県民参加型の体験相談コーナー(相談コーナー等)

(2) 関係団体によるパネル展示等(展示・物品販売等)

【参加予定団体】

あすなる共同作業所、岩出サンワーク、共同作業所エルシティオ、(福)一麦会、(NPO)和歌山県精神障害者家族会連合会、和歌山県精神障害者団体連合会、和歌山県精神医学ソーシャルワーカー協会、和歌山県精神保健福祉協会、和歌山県精神科病院協会、(NPO)和歌山県断酒連合会、つばさの会、つばさの会を支える会、海南海草地区精神障害者家族会「紙ふうせん」、和歌山ダルク、日本精神科看護技術協会和歌山県支部、和歌浦病院、紀南こころの医療センター、紀の川病院

【watari プロフィール】

本名 巨肇夫(わたりとしお)。東京大学教育学部健康教育学科卒業。健康教育学士・日本音楽療法学会会員・演出家・振付師。
『日経メディカル』『キャリアガイダンス』記者を経て演出家・振付師に転身。映画『Shall we ダンス?』の芸術監督、TV『ウッチャンナンチャンのウリナリ』に金髪先生として出演していたが、家族の自殺や言われなきマスコミの中傷をきっかけにうつ病を発症。5年間の闘病後、うつ病を克服し、現在は心理療法士の資格を取得し、日本各地で講演活動等を意欲的に行っている。著書は、『リセット～うつ病と闘った1826日の記録～』。



資料提供	
担当課	県精神保健福祉センター
担当者	◻崎 いづみ
電話	073-435-5194